

新しいタイプの学校の検証及び充実について ～ 単 位 制 高 校 (全日制普通科) ～

1. 検証の目的

本県では、平成12年度に穴吹高校、平成16年度に城北高校、富岡西高校、板野高校、平成17年度に鳴門高校、川島高校に単位制を導入しているが、単位制高校の教育活動等の検証を行い、今後の高校教育のあり方に活かすことを目的とする。

2. 検証の概要

(1) 視点

〔Ⅰ〕 単位制の教育制度が理解され、受け入れられているか。

〔Ⅱ〕 単位制の特色を活かした教育が展開されているか。

(2) 方法

生徒・教員を対象としたアンケートの結果、学校へのヒアリング等をもとに検証する。

3. 検証

(1) 総合的な評価

各校とも、生徒の興味・関心や将来の進路希望等に対応する多様な教科・科目が開設できており、生徒は、科目選択ガイダンスを活かした適切な科目選択について、おおむね満足している。また、少人数でのきめ細かい指導にも努めており、3年次生の多くが単位制高校での3年間における学習に頑張ることができた実感しているなど、単位制高校に対する在校生の評価は総じて高い。

他方、教員の評価は、導入年度が早い学校ほど高いものとなっているが、全体的には厳しいものとなっている。

一方、中学時に各校の体験入学に参加した生徒の多くが、体験内容を高く評価しており、体験入学が進路決定の大きなきっかけとなっているが、入学生で体験入学に参加した生徒は非常に少ない。また、学期区分の認定科目の設置や、年次の枠を超えての授業の導入等は充分ではなく、単位制の良さが活かし切れていないところもある。

今後、こうした検証結果を踏まえ、各校では、教師集団が単位制を活かした学校運営やカリキュラムのあり方について共通理解を深め、教育内容の一層の充実を図るとともに、広報活動にも積極的に取り組み、生徒や保護者への理解をさらに深めていく必要がある。

(2) 視点からの評価

〔視点Ⅰ〕：単位制の教育制度が理解され、受け入れられているか。

① 在校生は単位制高校に対して肯定的な評価をしており、単位制の教育制度は生徒の学習意欲にも良い効果を与えている。

1年次生に「単位制高校に入学してよかったと思いますか」と尋ねたところ、「思う」「まあ思う」と肯定的な回答をしたのは54.1%、これに対して「あまり思わない」「思わない」と否定的な回答をしたのは22.5%で、肯定的な回答が、否定的な回答を大きく上回っている。また、3年次生に対する「3年間、単位制高校で学んでよかったと思いますか」との問いでも、肯定的な回答は57.9%で、否定的な回答の25.0%を大きく上回っており、単位制の教育を肯定する在校生の割合が多くなっている。その理由として、「自分の興味・関心、進路の希望などに合わせた科目が選択できたから」、「様々な進路に対応できるから」などを挙げており、単位制の教育への理解は進みつつあると思われる。

〔P16-資料2〕 問4， P20-資料2〕 問8 (1) (2)〕

また、3年次生の70.0%が、「単位制高校での3年間における学習について、頑張ることができたと思いますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答している。そして、記述アンケートには、「努力すればするほど単位が取れて充実感がある」、「単位を落してはいけないとの危機感があったので、緊張感を持って授業に臨めた」など、単位制の教育制度は生徒の学習意欲にも良い効果を与えており、在校生は単位制の教育に満足している。〔P21-資料2〕 問10〕

② 教員の単位制高校に対する評価は、導入年度が早い学校ほど高くなっているが、全体としては厳しい評価となっている。

「単位制高校は、生徒にとって良い制度だと思いますか」の問いに、教員で肯定的な回答をしたのは43.4%、これに対して否定的な回答をしたのは46.5%で、否定的な回答が、肯定的な回答をわずかに上回る結果となっている。ただ、平成17年度に単位制を導入した2校については、卒業生を送り出していないこともあり、評価自体に難しさがあると思われる。こうした中、単位制の導入が最も早かった学校の肯定的な回答が69.0%と最も高く、導入年度が早ければ早いほど、肯定的な回答の割合が高くなっていることから、今後、各校が経験を重ねていながら、各校の実態に応じた単位制の教育のあり方を検討・研究することで、より良い制度となり、各校の評価は次第に高まっていくものと期待できる。〔P15-資料2〕 問3〕

〔視点Ⅱ〕：単位制の特色を活かした教育が展開されているか。

③ 生徒の興味・関心や将来の進路希望等に対応する多様な教科・科目が開設でき
おり、少人数でのきめ細かい授業にも努めている。

開設科目については、その内容や科目数に各校で違いはあるが、教員の83.7%が、「生徒の興味・関心、将来の進路希望等に対応するため、多様な教科・科目が開設されていますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答しており、各校とも生徒の多様な学習ニーズや進路等に対応する教科・科目が開設できていると感じている。

〔P12-資料2〕 問1(1)〕

また、1年次生に、単位制高校を志望した理由を尋ねたところ、「自分の興味・関心、進路の希望などに合わせた科目が選べるから」が第一の理由となっており、単位制の教育の特色を理解した上で、入学してきていると考えられる。また、3年次生に、単位制高校で学んでよかった理由を尋ねても、同じ理由が群を抜いて多くなっており、生徒も開設科目に満足していると考えられる。

〔P17-資料2〕 問5(2)、P20-資料2〕 問8(2)〕

次に、教員が単位制の教育の中で最も重要であると考えているのは、「少人数授業でのきめ細かい充実した指導」となっている。また、教員に対する「少人数での授業が増え、きめ細かい充実した指導を行っていますか」との問いに、「思う」「まあ思う」と回答したのは72.2%で、実際の指導においても、実践できていると評価している。

〔P14-資料2〕 問1(6)、P15-資料2〕 問2〕

④ 科目選択ガイダンスを活かし、生徒は興味・関心等に応じた適切な科目選択が
できているが、科目選択ガイダンスの進め方に工夫と改善が求められている。

各校とも、単位制の特色を活かせるよう計画的に科目選択ガイダンスに取り組んでいるが、その評価は各校間で分かれている。教員の72.8%が、「科目選択のためのガイダンスを充実させていますか」の問いに「思う」「まあ思う」と回答しており、全体としては高い評価をしている。しかし学校別に見ると、3校で80%を超える一方で、50%程度の学校もあり、計画・指導する側の教員の評価としては厳しく、科目選択ガイダンスのあり方について工夫・改善が求められている。

〔P11-資料1〕 3、P12-資料2〕 問1(2)〕

また、1年次生は、科目選択ガイダンスのあり方におおむね満足している。学年集会でのガイダンスで科目選択の意義や手順が理解できたとする生徒は58.7%、個人ガイダンスで円滑な科目選択ができたとする生徒が63.8%となっている。それに比べて、科目選択時にシラバスを活用できたとする生徒は39.3%と低く、生徒の中には「シラバスをもっとわかりやすく」との意欲的な声もあることから、今後、理解しやすいシラバスとなるよう内容を工夫・改善するとともに、その活用方法についても指導する必要がある。〔P19-資料2〕 問7〕

次に、「生徒は自分の希望する科目を履修することができますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答した教員は65.0%、また、「生徒は様々な進路に対応した教科・科目を選択できていますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答した教員は67.7%となっており、生徒の科目選択の現状を肯定的にとらえている。

〔P13-資料2〕 問1(3), P14-資料2〕 問1(7)〕

また、3年次生の68.0%が、「自分の興味・関心などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか」の問いに、「思う」「まあ思う」と回答している。そして、「自分の進路の希望などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか」の問いにも、66.2%が「思う」「まあ思う」と回答しており、生徒の多くは、友だち関係や単位取得が容易などの安易な理由で科目を決定するのではなく、本来の興味・関心や将来の進路を基準として、適切な科目選択ができている。そして教員は、「科目選択以上に進路学習に力を入れるべきである」と、明確な進路目標のもとに科目選択することが重要と考えており、生徒の中にも、「明確な進路が定まっていなかったため、科目選択が難しかった」との反省もあることから、科目選択ガイダンスに先行して進路学習が重要との課題も挙がっている。〔P21-資料2〕 問9〕

⑤ 生徒の多様なニーズに一層対応できるよう、単位制を十分に活かす諸制度の導入が求められる。

新たな単位認定制度の導入には前向である。「実用英語技能検定」、「漢字能力検定」など技能審査の成果を単位認定する学校、あるいは、「大学での講義の聴講」、「ボランティア活動」、「就業体験」などの学校外における学修を単位認定する学校も増えてきており、生徒の学習活動への動機づけや学習意欲の高揚にも十分な効果を上げている。〔P11-資料1〕 2(2)〕

しかし、学期区分の認定科目の設置や、年次の枠を超えた授業を導入する学校は少なく、単位制の良さが活かし切れていない。また、社会人講師の活用、学校間連携や高大連携の推進がまだ充分行えておらず、今後、こうした地域の人材活用や教育資源を有効に活用し、単位制の教育と組み合わせれば、より多様な教育の展開が可能と考えられる。〔P10～11-資料1〕 2〕

【備考1】 高校教育に関わる諸制度とは、「学校間連携」、「技能審査の成果、学校外における学修の単位認定」、「公開講座」のことを指す。

【備考2】 新たな単位認定制度とは、次のようなものである。

- ・ 学校間連携による単位認定 (H5年度)
- ・ 大学、高等専門学校 (H10年度) 又は専修学校等 (H5年度) における学修の単位認定
- ・ 技能審査の成果の単位認定 (H10年度)
- ・ ボランティア活動等の単位認定 (H10年度) など

4. 各校の充実策

これまでの検証結果を踏まえ、各校の単位制の教育が一層魅力あるものとなるよう充実策をまとめた。

【穴吹高校】

(1) 多様で魅力ある科目開設の推進に向けて

- 生徒の興味の動向，進路希望についてのアンケート調査の実施
- 生徒の進路，ニーズに応じた設置科目の見直し，検討

(2) 進路指導の充実

- 現在も1年次から「総合的な学習の時間」を使って継続的に進路ガイダンス（将来の進路設計，職業，学問，大学・短大・専門学校などの理解）を行っているが，生徒の興味・関心，更に学年に応じた学習内容になっているかの再確認と一層の充実策を検討
- オープンキャンパスやさまざまな職業体験への積極的参加の推奨
- 個人面談の回数増（個人面談週間の設置）

(3) 科目ガイダンスの充実

- 魅力ある教育課程の編成
- 生徒にとってわかりやすく活用できるシラバスの作成を工夫，改善
 - ・講座内容の，生徒にとっての見やすさ，わかりやすさの工夫
 - ・各学年，履修状況に応じて，次年度の選択可能科目などがすぐわかるようなチャートの作成（各教科統一仕様）
- 生徒の理解をより深めるために，早い時期（5月初旬）からの科目ガイダンスの実施
- 進路選択や資格取得と関連づけての科目ガイダンスの実施

(4) 地域連携や教育改革の諸制度（学校間連携，技能審査，学校外学修の単位認定）

<技能審査>

- 英検，漢検，数検などの資格取得した生徒への増加単位認定の検討

<地域連携>

- 現在実施している，授業「発達と保育」の保育実習に続き，授業「家庭看護・福祉」においても高齢者福祉施設での福祉実習の実施
- 各種ボランティア活動の推進
- 地域解放講座（「情報」，「たのしい実験」）などの実施

(5) 単位制高校の魅力を広め，認知度を高める

- 中学生の体験入学の工夫
 - ・単位制の魅力をアピールするビデオ作成，先輩との交流
- オープンスクールへの参加の呼びかけを強化
 - ・地元だけでなく広範囲の中学校へ
- ホームページの工夫・改善
- PR広報「かわら版」の地元商店等への配布，掲示のお願い
- 地域の人に学校へ足を運んでもらえるような催し・行事を実施
 - ・学校設定科目の体験・公開授業，地域解放講座など

【城北高校】

(1) 進路指導の充実

- 面談週間の増設による個人面談回数増
- 進路選択に関する幅広い情報提供
- インターンシップの充実による正しい勤労観・職業観の確立

(2) 科目選択ガイダンスの充実

- 魅力ある教育課程の編成
 - ・科目が実際に生徒の興味・関心・必要性に応えるものとなっているかの検討
- 進路選択や資格取得と関連づけての科目ガイダンスの実施
- 生徒が科目選択に活用できるシラバスの作成
- 個々の生徒の進路希望にあった科目履修になっているかの科目履修検討会の開催

(3) 授業改革

- 授業規律の確立
 - ・チャイムと同時の授業開始，居眠りをさせない，机上の不要物撤去
- 習熟度，少人数授業の成果の検証
- 生徒による授業評価の検証
- 授業公開週間を設定し，全授業を公開しての授業研究

(4) 広報活動

- 生徒による合格者招集及び中学生体験入学での受付・案内とプレゼンテーション
- 地域説明会・中学校説明会等で単位制の認知度向上
- 中学生の視点に立った分かりやすいHPの作成

【板野高校】

(1) 生徒の主体的な進路選択能力の育成

①キャリア教育の充実

- 体系的なキャリア教育計画の作成
- キャリアカウンセラーの活用
- インターンシップの充実

②科目ガイダンスの充実

- 進路指導担当者と学年で，全体の方向性について共通理解を図る
- 担当学年会で生徒への指導の方向性，及び科目選択の方向性を決める
- 各科目の授業の中で，科目選択の時期に合わせて，各担当者から科目内容を説明する
- 担任からの保護者への説明を三者面談等を通して行う

(2) 多様で魅力ある科目開設の推進

- 科目選択に加えて，魅力ある教育課程の研究やシラバスの充実を図る
- 一般的な科目以外に，専門的な科目の設定を考える
- 将来の進路に役立つ科目設定を考える
- 指導要領の科目に合わせるが，講座名を魅力ある名称にする
- 進学ばかりでなく，就職生向けの科目の設定を考える
- 資格試験対応の講座を開設する
- ボランティア，文化体験，体育的体験，芸術的体験など体験的な科目を設定する

(3) 学力向上に向けた取り組み

- 少人数授業の検証
- 習熟度別授業の検討
- 学力向上策の充実

(4) 地域連携・学校間連携

- 地域で学習でき、単位認定できる講座を考える
- 地域から講師として迎えらるる人を、授業の中で活用する（上記（2）でも可）
- 地元大学と単位認定も含めて講座の開設を考える
（出前授業、生徒が大学へ出向くなど）
- 校種を変えて、科目の授業に出向いてもらう（名物先生の活用）

(5) 本校独自の課題

- 魅力ある教育課程（科目）の開設
- 生徒の単位制への適応度を高める
- 科目選択時に将来を見据えて、行わせる（単に進学、就職という考え方でなく）
- 単位の未履修や未修得生徒への対応（3年で卒業認定できない場合など）

【富岡西高校】

(1) 追認定試験について

- 年度末に、追認定考査を実施する
- 追認定の機会を複数回設定する

(2) 単位認定について

- 限定的に前期・後期で異なる科目を履修できるようにする
- 3年次において前期・後期で多様な科目の展開
- 2年次において前期・後期で異なる科目を実施できる選択群の検討
- 地歴2科目・理科3科目を履修する生徒への弾力的対応

(3) クラス編成について

- 進路希望に応じたクラス編成の検討
- 習熟度別のクラス編成の検討
- HRクラスと授業クラスの2本立ての編成の検討
- 授業クラスは、科目選択に応じ、様々なニーズに応じた編成を検討
- 担任の役割の検討

(4) 進路指導の充実

- 外部から講師を招いて実施する、1・2年次におけるキャリアガイダンスの充実
- 「総合的な学習の時間」と連動した進路指導の充実
- 面接指導の年間計画の充実と、年次進行にともなう指導の継続性を向上させるための「教育カルテ」の作成

(5) 学力向上のための工夫

- 講座が多いため、各年次・各教科の連携を密にするための校内掲示板の有効利用の促進
- 講座単位ごとに生徒による教員授業評価を実施し、その結果をふまえた授業改善の取組
- 定期考査・課題テストの充実による日常学習の定着

【鳴門高校】

(1) 多様で魅力ある科目開設の推進

- 生徒の進路に応じた科目設定の見直し
 - ・ユニット（科目選択群）の見直し・検討・充実を図る
 - ・医・歯・薬学系への進学対応として、受験理科3科目の履修を可能にする
- 学校設定科目として「ボランティア特講（増単位1）」を設定
- 選択科目一部改正（平成19年度入学生より）

(2) 進路ガイダンスの充実

- 「鳴高キャリアアップガイダンス」の内容をよりわかりやすく改善
- 1年生次対象に、「総合的な学習の時間」を利用した継続的なガイダンスの実施
 - ・学年全体に「科目選択説明会」（6月）実施し、各教科主任から科目の内容を具体的に説明する
 - ・夏季休業中の三者面談で、保護者を交えた進路ガイダンスを個別に実施する
- 各学期の面接週間を増設
- 進路選択に関する資料・情報の提供増

(3) 単位制の認知度を高める工夫

- 中学生体験入学でのプレゼンテーションの見直し
- 地域中学校での進学説明会や学力向上委員会の訪問での広報活動の充実
- ホームページの充実

(4) 各校独自の課題

- 生徒の単位制への適応度を高める
- 「鳴高ビジョン（進学・就職実績の向上、部活動の全国大会出場の数値）」による広報
- 公開授業における授業の相互参観をとおして指導力の向上を図る

【川島高校】

(1) 科目選択ガイダンスの充実

- ①「総合的な学習の時間」「川高フューチャープラン（川高FP）」の指導の工夫と改善
 - 履修ガイダンスの一層の充実
 - ・年間計画の中心に「ガイダンス」を据え、共通理解をもって取り組む
 - 「人材バンクネットワーク」講演会による進路学習の充実
 - ・社会人講師による講話により、将来の在り方・生き方について考える
 - 出張講義「アカデミックレクチャー」による進学意欲の向上
 - ・大学等の講師による講義を受け、上級学校への向学心の高揚を図る

②科目ガイダンスの充実

- 生徒の多様化したニーズに対応した教育課程の編成
 - ・「演習」科目等の学校設定科目を選択科目に設定し、より自由な選択を可能とする
- 「川高ガイドブック」の改訂
 - ・講座説明や履修モデルを分かりやすく改善し、生徒が利用できる工夫をする

- 個別面談の増加
 - ・面接週間を定期考査前後に年6回設定し、履修指導・科目選択・進路相談等に活用する
- (2) 進路指導の充実
 - 3年間を見据えた進路別ガイダンス
 - ・自己理解（生き方や在り方）、職業理解、学問理解、学校理解などの充実を図る
 - オープンキャンパスや校外進路説明会等への参加を推奨
 - 進路検討会の早期開催
- (3) 地域連携や教育改革の諸制度（学校間連携、技能審査・学校外学修の単位認定等）の更なる活用について
 - ①地域連携
 - 「人材バンクネットワーク」にPTAや地域の企業家に登録を依頼し講演実施
 - 授業「保育・看護」において、保育所・高齢者福祉施設等での実習の実施
 - JRC部による高齢者福祉施設等でのボランティア活動の推進
 - インターンシップの充実
 - ②学校間連携
 - 県内大学との連携による単位認定（※制度はあるが、実施について検討）
 - 高大連携連絡協議会への参加
 - 「アカデミックレクチャー」をより充実するために内容検討
 - 地域の中中学生を対象とした「説明会」の実施
 - ③技能審査・学校外学修
 - 「技能審査」（日本漢字能力検定・実用英語技能検定等）の単位認定
 - ・「朝の学習」で資格取得への基礎基本の充実・実践
 - 学校外での学修を「大学等における学修」、「ボランティア活動」等として単位認定（※制度はあるが、実施について検討）
- (4) 単位制高校の認知度を高める工夫と理解の促進
 - 本校独自の「進学説明会」の実施
 - ・企画研究課、進学課による地元中学校での進学ガイダンスを実施
 - 中学生体験入学の内容の工夫
 - ・単位制の魅力をPR、先輩生徒との交流、授業体験等をアンケート結果により改善
 - ホームページの工夫・改善
- (5) 中高一貫教育と単位制教育
 - 単位制の利点を生かした教育課程の編成
 - 6年間の中高一貫教育を見据えたシラバス・学習指導計画の作成
 - 習熟度別・少人数指導の授業展開を計画・実施
 - ・1人ひとりの生徒の興味・適性に応じた指導及び進路希望に対応可能とする

各高校の基本データ

1. 各高校の導入年度

導入年度	全日制 単位制高校	備考
平成 9年度	(※) 城西高校	総合学科と農業科の併置
平成12年度	穴吹高校	
平成15年度	(※) 鳴門第一高校 (※) 新野高校	総合学科単独校 総合学科単独校
平成16年度	城北高校 板野高校 富岡西高校	
平成17年度	鳴門高校 川島高校	

【注意】(※) 印のついた「城西高校」、「鳴門第一高校」、「新野高校」の3校については、総合学科の高校として別に検証する。

2. 教育課程〔平成18年度〕

(1) 教育課程の状況

	穴吹高	城北高	板野高	富岡西高	鳴門高	川島高
募集定員(H19)	130	320	180	250	320	180
開講講座総数	162	421	271	357	352	270
開講科目総数	48	97	82	51	55	99
(設置科目総数)	70	126	100	65	57	121
学校設定科目数	5	12	3	5	2	14
社会人講師数	0	1	0	0	0	0

	穴吹高	城北高	板野高	富岡西高	鳴門高	川島高
ア) 少人数教育の展開基準等	ア) どの学校においても、進路に必要である場合は、人数に関係なく開講するが、開講するか否かは各校の判断で決められている。					
イ) 20人以下での実施講座数	イ) 47講座	イ) 46講座	イ) 40講座	イ) 29講座	イ) 33講座	イ) 51講座
学期区分の認定科目	実施していない	実施していない	実施していない	オプション科目に限り実施	実施していない	実施していない
年次の枠を超えた授業	決められた科目以外は自由に選択可	実施していない	実施していない	実施していない	実施していない	実施していない

(2) 諸制度の活用状況

	穴吹高	城北高	板野高	富岡西高	鳴門高	川島高
学校間連携の実施状況	実施していない	実施していない	実施していない	実施していない	鳴門教育大学	実施していない
・技能審査の成果の単位認定状況 ・卒業単位として認定の可否	導入していない	漢検, 英検 硬筆・毛筆	漢検, 英検 数検, PC検 ワープロ検等	導入していない	導入していない	漢検, 英検 硬筆・毛筆 家庭
・学校外学修の単位認定の状況 ・卒業単位として認定の可否	導入していない	<否> 大学講義, ボランティア, 就業体験 など	<可> 勤労体験, ボランティア	導入していない	ボランティア (板野養護)	<否> 大学講義, ボランティア, 就業体験 など
公開講座の実施状況	実施していない	実施していない	実施していない	実施していない	実施していない	<可> 実施していない

【備考】技能審査の成果及び学校外学修の単位認定に関する詳細な内容については、各校の学習規定等を参照

3. 科目選択ガイダンス

	実施内容
穴吹高校	○3年間通じて、「総合的な学習の時間」で、自己理解、進路・職業研究等のキャリアガイダンスを実施。 (4月) 学年全体で履修ガイダンスを実施。 (6月) クラスで、個々の履修科目について指導した後、提出された第1回履修希望表の科目選択状況をチェック。 (7月) 個別面接を行い、誤った選択等がないか指導し、第2回履修希望票を提出させ、三者面談を経て、最終希望表を提出。
城北高校	○コースアドバイザー(各学年の教科責任者、進学課長、教務課長で構成)を設置し、各生徒の進路希望(第3希望まで)を眺みながら、適正な科目選択ができていないか検討するシステムを取っている。 (6月) 「科目履修説明会」を実施するとともに、モデルプランを提示し、その後、仮登録を行う。 (7月) 3者面談で選択科目の確認。 (12月) 履修科目の最終決定。
板野高校	○「総合的な学習の時間」で、インターンシップ[1年]、大学の出張講義(課題研究)[2年]、進路研究のまとめ[3年]を行う。 (4月) 年次ガイダンスで単位制と次年度の科目選択の説明をした後、クラスで、学年主任と担任からガイダンスブックを用いて詳細な説明。 (6月) 選択科目用紙の提出。 (7月) 3者面談で選択科目を確認。
富岡西高校	(4月) シラバスを配布し、年次集会において科目選択の概要を説明する。またクラスで、「総合的な学習の時間」に選択科目の内容等のガイダンスを実施。 (5月) 外部講師による職業別ガイダンスを実施。 (6月) 科目選択仮登録。個別面接で、科目選択の内容を確認・検討。 (7月) 3者面談で科目選択の確認。 (10月) 面接で科目選択の最終確認を行い、それ以後は進路変更等事情に応じて個別に対応。
鳴門高校	○生徒には、「総合的な学習の時間」を中心に、学年集会で教務課長より概要説明、また各教科担任より教科内容の説明を行う。教員には、職員会議、学年会、担任会でガイダンスを実施し、共通理解を図る。 (6月) 科目選択予備調査の実施。 (9月) 科目選択最終調査を実施し、教務課長を中心に複数でチェックした後、担任と生徒で微調整を行う。
川島高校	○主に「総合的な学習の時間」において指導し、1年次から履修プランを3年次まで計画作成させ、単位修得・履修の記録もつけさせている。 (4月) 「川高ガイドブック」を用いて、単位制ガイダンスを実施。 (5月) 履修計画、選択科目、履修モデル等の説明を実施。 (6月) 学年集会で、各教科担任より開設科目・講座内容の説明、教務課長より単位制の概要説明、予備登録を行う。並行して出張講義や人材バンク(PTAや地域の方による)講演会を実施。 (11月) 保護者と相談の上、選択科目を決定し、履修登録用紙の提出。

アンケート調査の結果

○調査対象及び調査時期

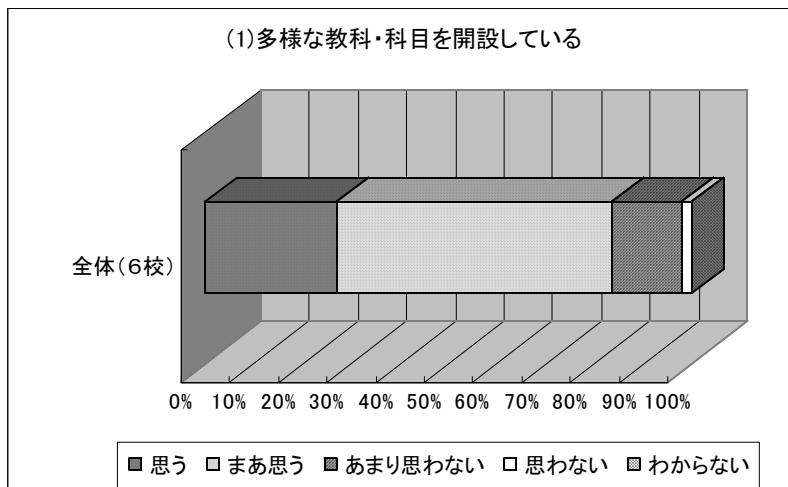
	教職員	1年次生	3年次生
穴吹高校	30	118	128
城北高校	70	355	355
板野高校	29	172	220
富岡西高校	46	244	269
鳴門高校	38	311	
川島高校	23	182	
調査時期	H18.10	H18.10	H18.12

〔教職員対象〕

問1 あなたの学校の取組についてお尋ねします。あなたは、次の事項についてそれぞれどのように思いますか。あてはまるものの番号を1つだけ選んで○で囲んでください。

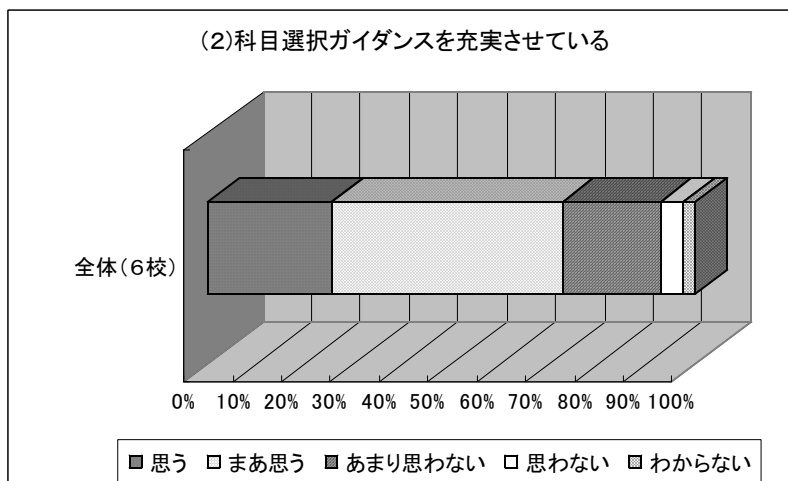
1 そう思う 2 まあそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない

(1) 生徒の興味・関心、将来の進路希望等に対応するため、多様な教科・科目を開設している。



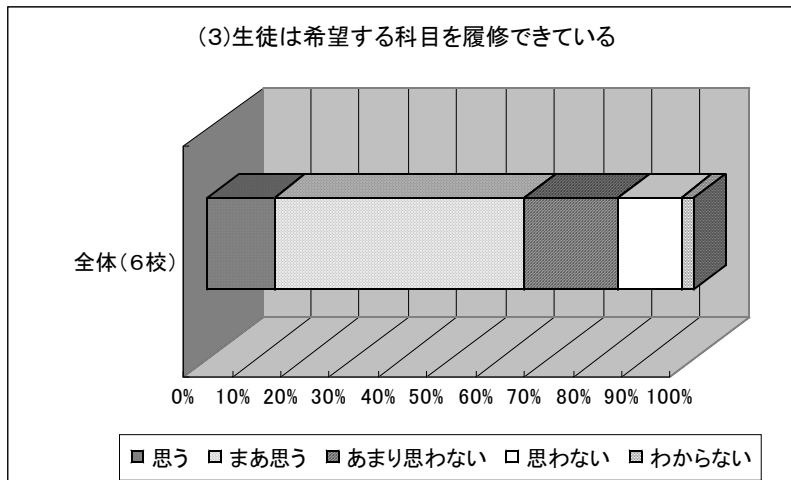
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕83.7%

(2) 科目選択のためのガイダンスを充実させている。



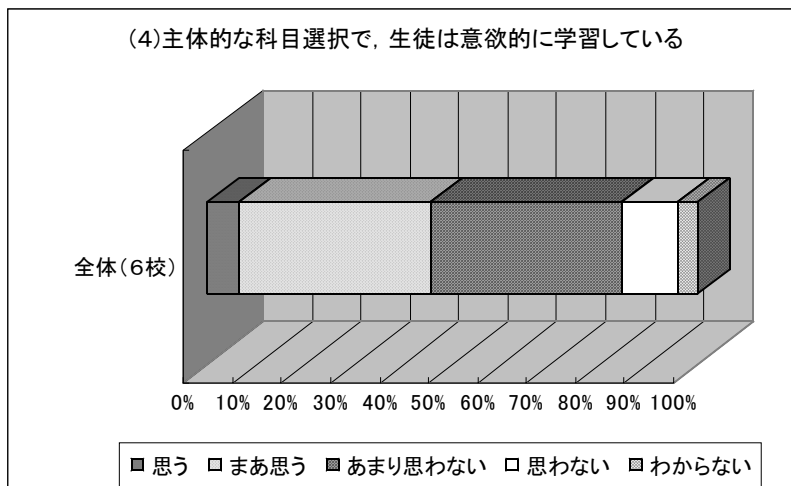
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕72.8%

(3) 生徒は自分の希望する科目を履修することができる。



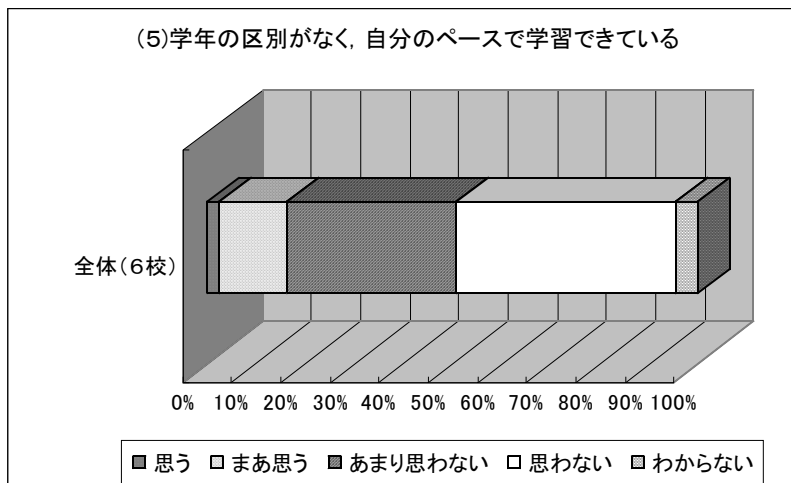
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕 65.0 %

(4) 主体的な科目選択により，生徒は，意欲を持って学習に取り組むことができる。



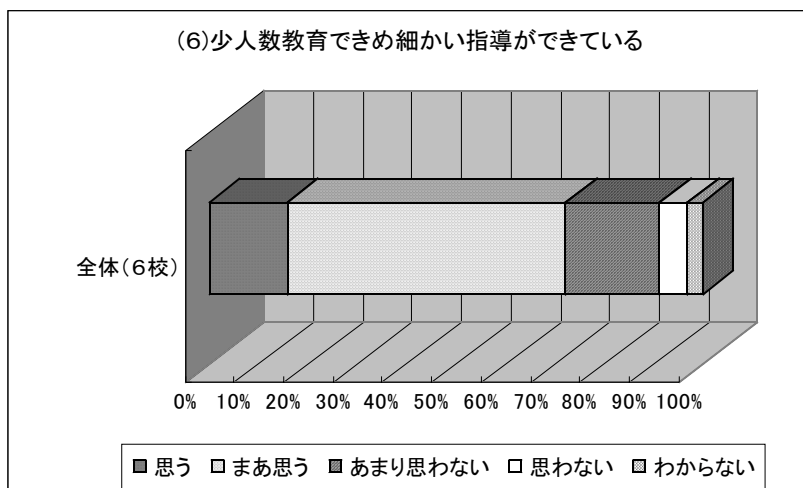
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕 45.5 %

(5) 学年の区分がなく，自分のペースで学習に取り組むことができる。



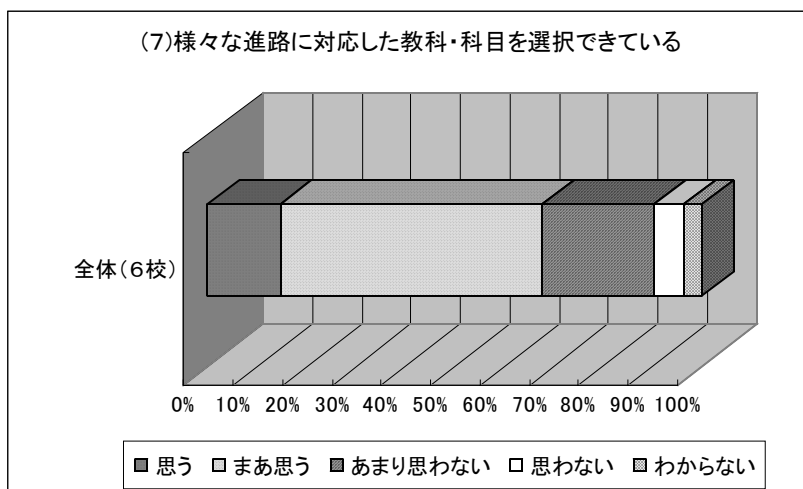
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕 16.2 %

(6) 少人数での授業が増え、きめ細かい充実した指導を行っている。



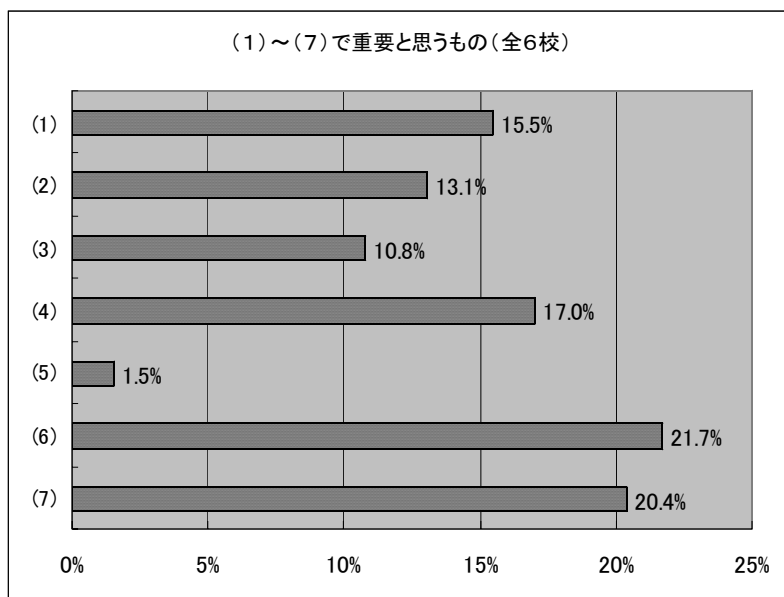
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕 72.2 %

(7) 生徒は様々な進路に対応した教科・科目を選択できている。



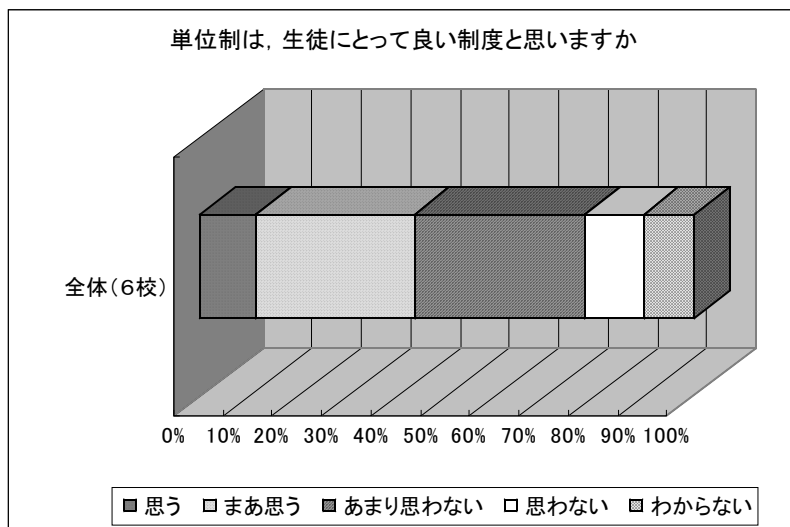
「思う」と「まあ思う」を
合わせた数値
〔全体〕 67.7 %

問2. 次の(1)～(7) (問1の項目)のうち、単位制高校に勤務しているあなたにとって重要であると思われるものを3つ以内で選んでください。



- (1) 生徒の興味・関心，将来の進路希望等に対応するため，多様な教科・科目を開設している。
- (2) 科目選択のためのガイダンスを充実させている。
- (3) 生徒は自分の希望する科目を履修することができる。
- (4) 主体的な科目選択により，生徒は，意欲を持って学習に取り組むことができる。
- (5) 学年の区分がなく，自分のペースで学習に取り組むことができる。
- (6) 少人数での授業が増え，きめ細かい充実した指導を行っている。
- (7) 生徒は様々な進路に対応した教科・科目を選択できている。

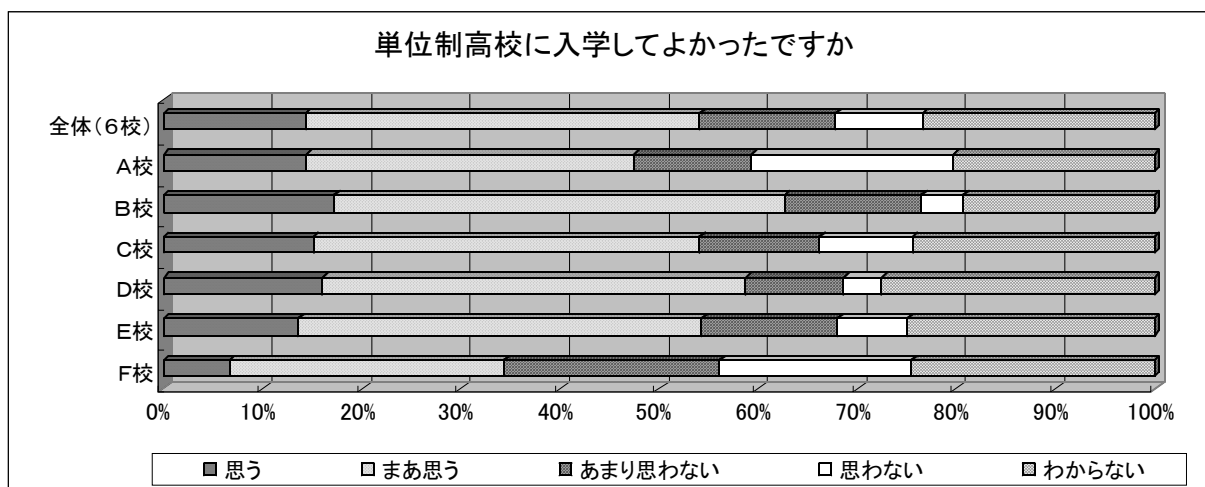
問3. 全日制単位制高校は，生徒にとって良い制度だと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
〔全体〕43.4%

〔高校1年次生対象〕

問4. 単位制高校に入学して、よかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

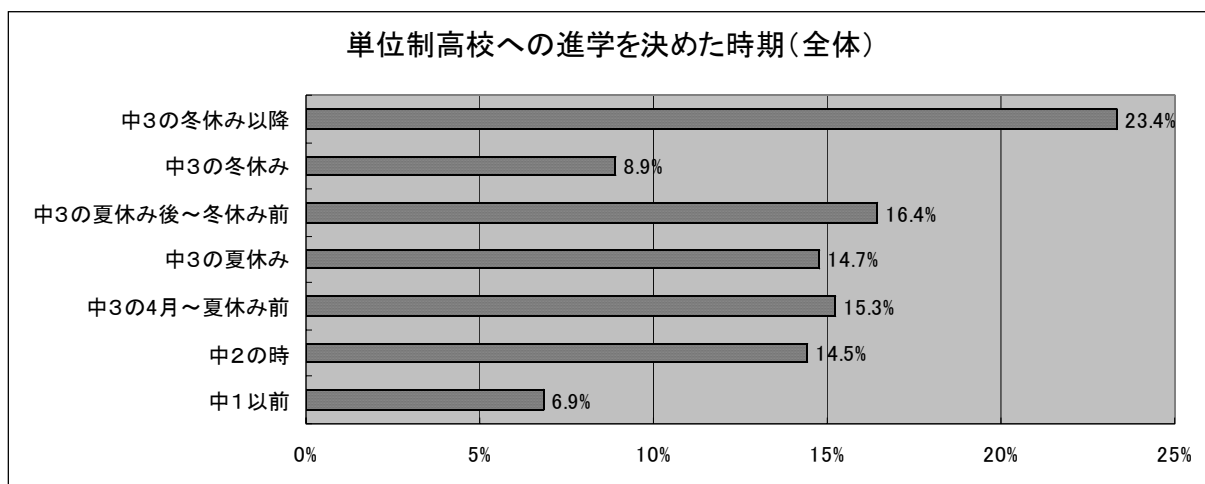
〔全体〕 54.1%

〔A校〕 47.5%, 〔B校〕 62.7%, 〔C校〕 54.1%

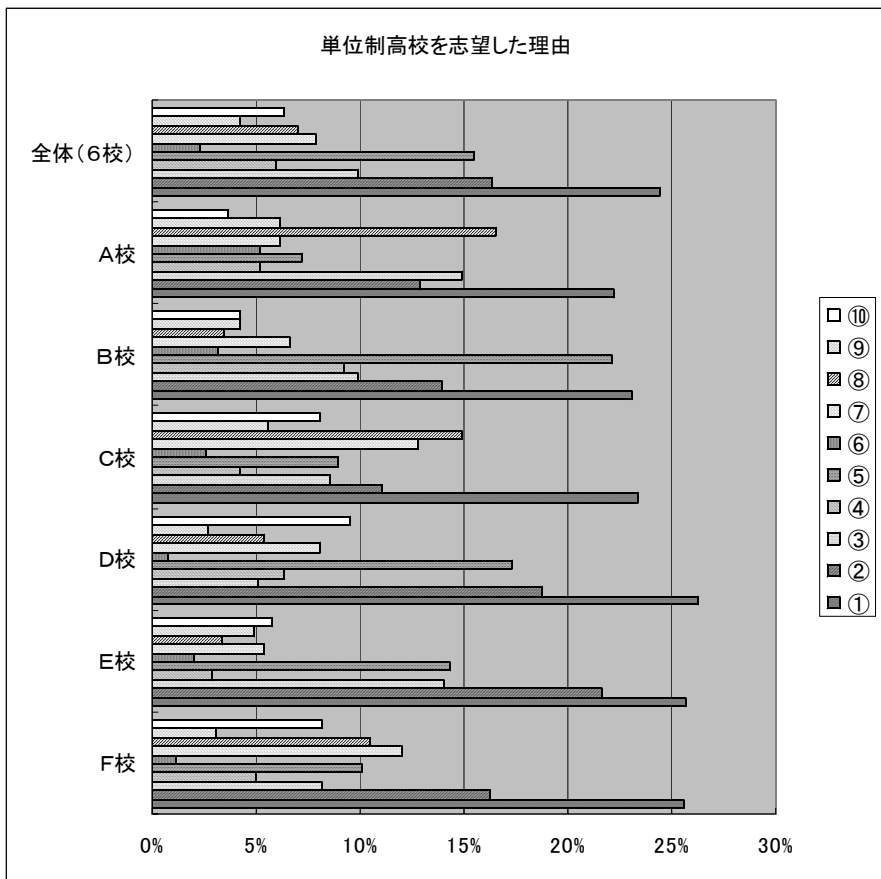
〔D校〕 58.8%, 〔E校〕 54.4%, 〔F校〕 34.4%

問5. 単位制高校の志望について

(1) 単位制高校への進学をどの時期に決めましたか。



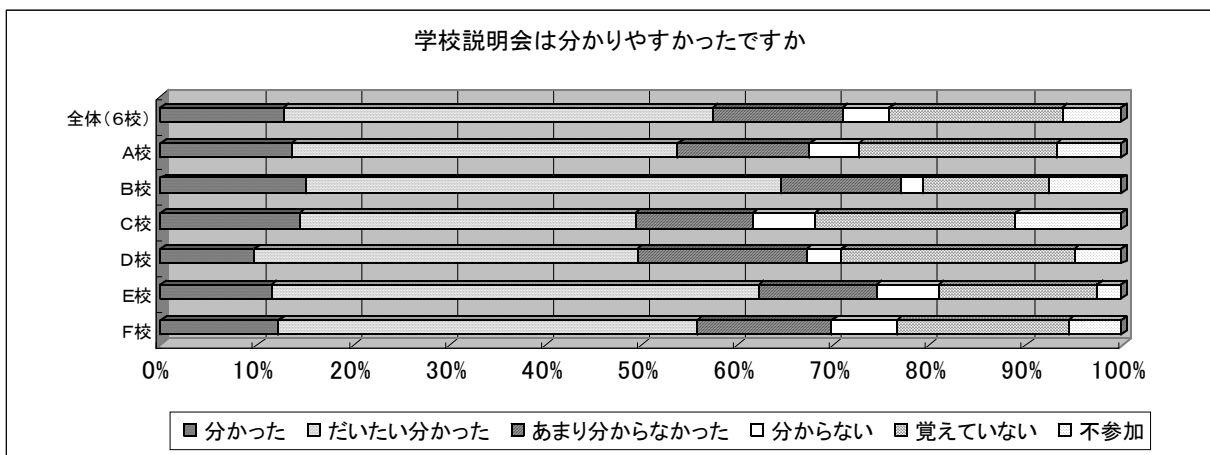
(2) 単位制高校を志望した理由について次の中から選んでください。(複数回答可)



- ①自分の興味・関心，進路の希望などに合わせた科目が選べるから
- ②自分の目的に応じた勉強が可能であるから
- ③個性を伸ばせると感じたから
- ④少人数での授業が増えきめ細かい指導を受けることができるから
- ⑤進学に有利だから
- ⑥就職に有利だから
- ⑦保護者にすすめられたから
- ⑧先生にすすめられたから
- ⑨友達が希望していたから
- ⑩その他

問6. 学校の理解について

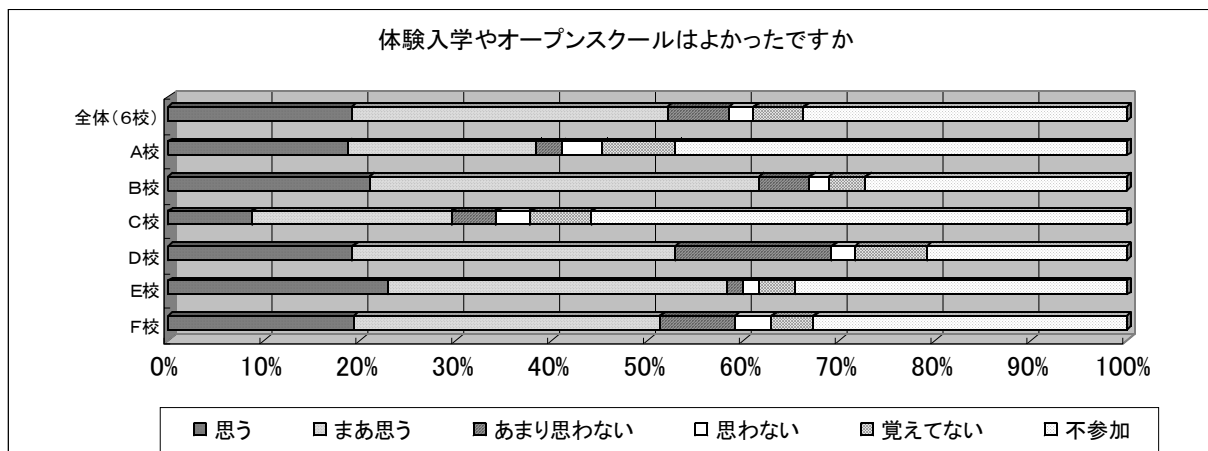
(1) 説明会などで，高校の先生から本校についての説明は，分かりやすかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

[全体] 57.4 %
 [A校] 53.8 %， [B校] 64.5 %， [C校] 49.4 %
 [D校] 49.6 %， [E校] 62.3 %， [F校] 55.9 %

(2) 体験入学やオープンスクールは、よかったですか。



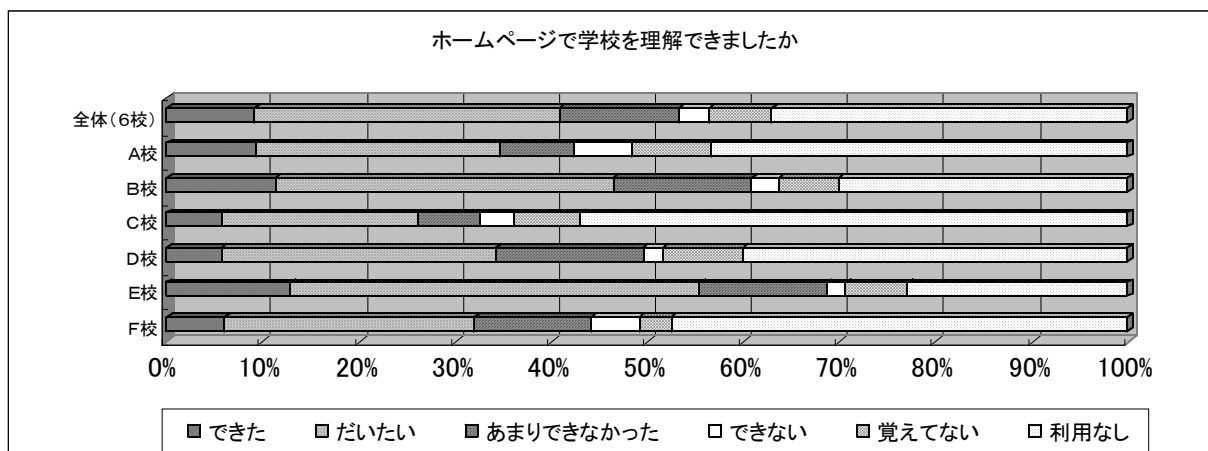
「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

〔全体〕 52.1 %

〔A校〕 38.5 %, 〔B校〕 61.6 %, 〔C校〕 29.7 %

〔D校〕 52.9 %, 〔E校〕 58.4 %, 〔F校〕 51.49 %

(3) 高校を選ぶときに、本校のホームページを利用し、本校について理解できましたか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

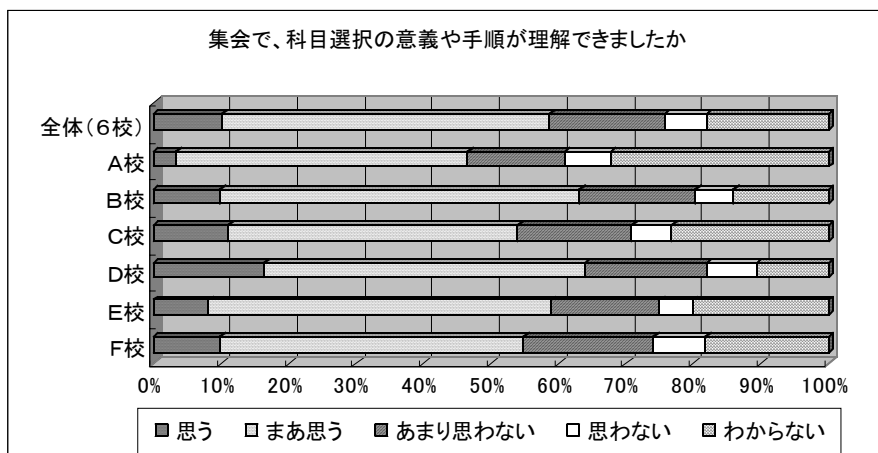
〔全体〕 40.9 %

〔A校〕 34.7 %, 〔B校〕 46.5 %, 〔C校〕 26.2 %

〔D校〕 34.3 %, 〔E校〕 55.5 %, 〔F校〕 32.0 %

問7. 科目ガイダンス

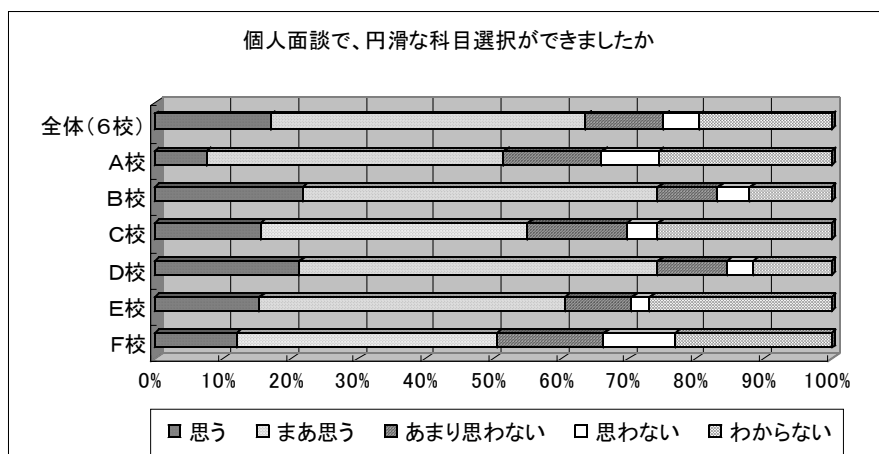
(1) 集会などによる学年全体へのガイダンスによって、科目選択の意義や手順などが理解できたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

[全 体] 58.7 %
 [A校] 46.6 %
 [B校] 63.1 %
 [C校] 54.1 %
 [D校] 63.9 %
 [E校] 58.9 %
 [F校] 54.9 %

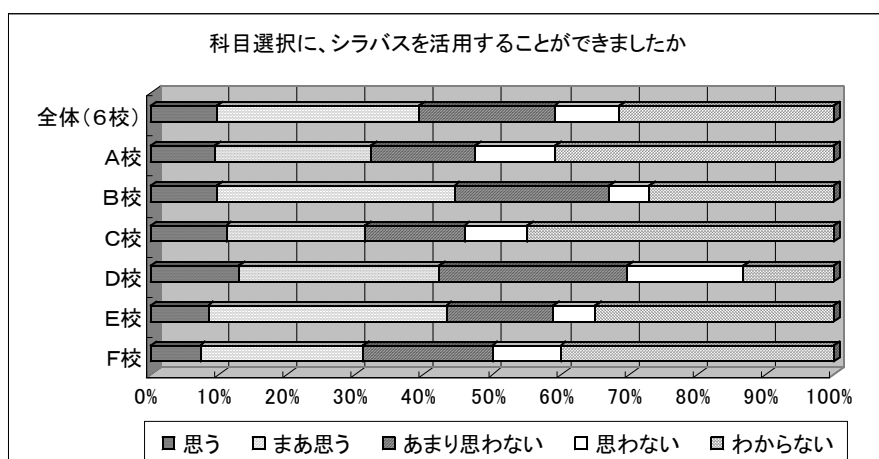
(2) 面談など個人でのガイダンスによって、円滑な科目選択ができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

[全 体] 63.8 %
 [A校] 51.7 %
 [B校] 74.4 %
 [C校] 55.2 %
 [D校] 74.4 %
 [E校] 60.6 %
 [F校] 50.5 %

(3) 科目選択にシラバス（手引き書）を活用することができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

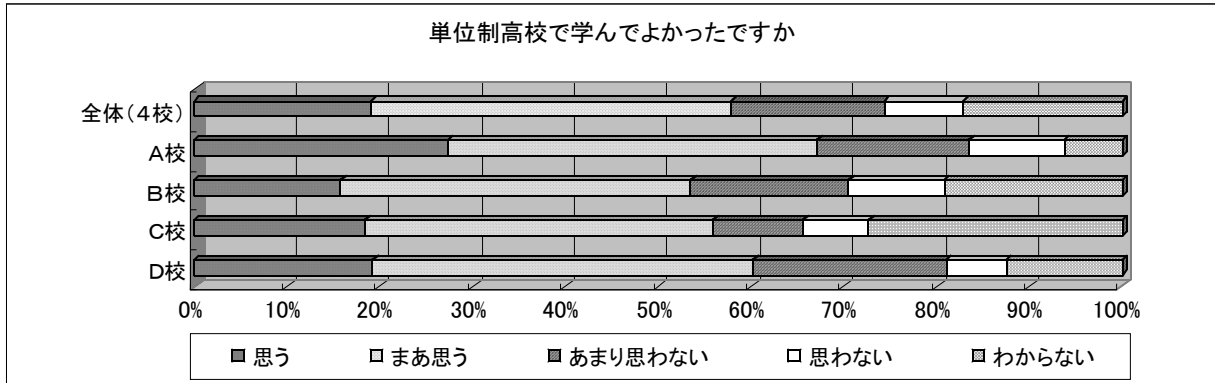
[全 体] 39.3 %
 [A校] 32.2 %
 [B校] 44.4 %
 [C校] 31.4 %
 [D校] 42.3 %
 [E校] 43.2 %
 [F校] 31.1 %

〔高校3年次生対象〕

〔注〕 鳴門高校、川島高校は導入年度の関係で調査していない。

問8. 単位制高校について

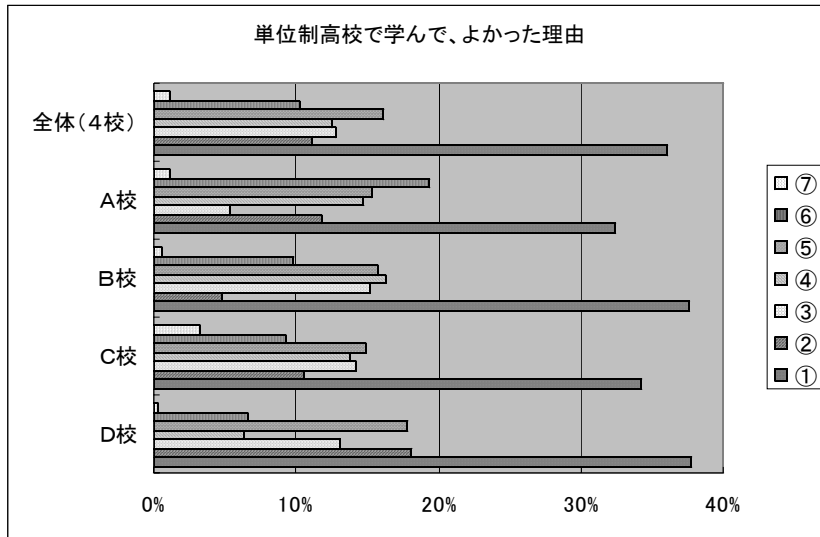
(1) 3年間、単位制高校で学んで、よかったですか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値

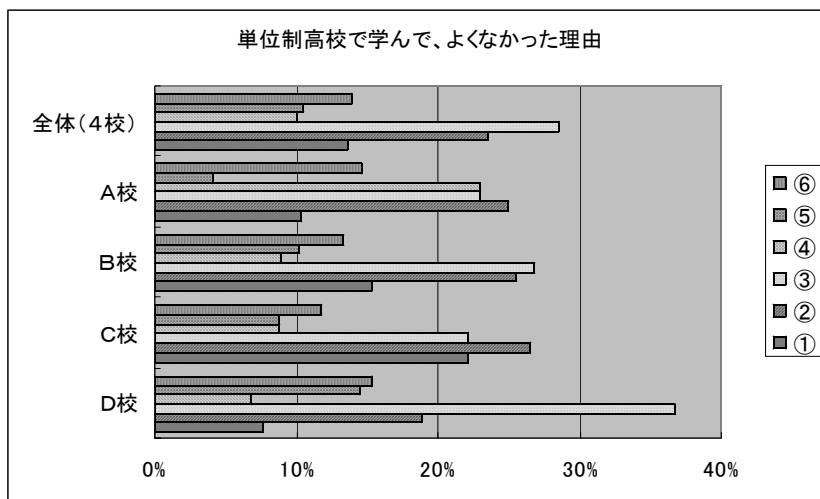
〔全体〕 57.9 %， 〔A校〕 67.2 %， 〔B校〕 53.6 %， 〔C校〕 55.9 %， 〔D校〕 60.2 %

(2) 単位制高校で学んでよかった理由を、次の中から選んでください。(複数回答可)



- ① 自分の興味・関心、進路の希望などに合わせた科目が選択できたから
- ② 他の学校にない特色ある科目が学習できたから
- ③ 少人数での授業が増えきめ細かい指導を受けることができたから
- ④ 自分の学力や理解力にあった学習ができたから
- ⑤ 様々な進路に対応できるから
- ⑥ 他クラスの生徒と授業を受けるなど、人間関係を広げる機会が増えたから
- ⑦ その他

(3) 単位制高校で学んでみて、よくなかった理由を、次の中から選んでください。(複数回答可)

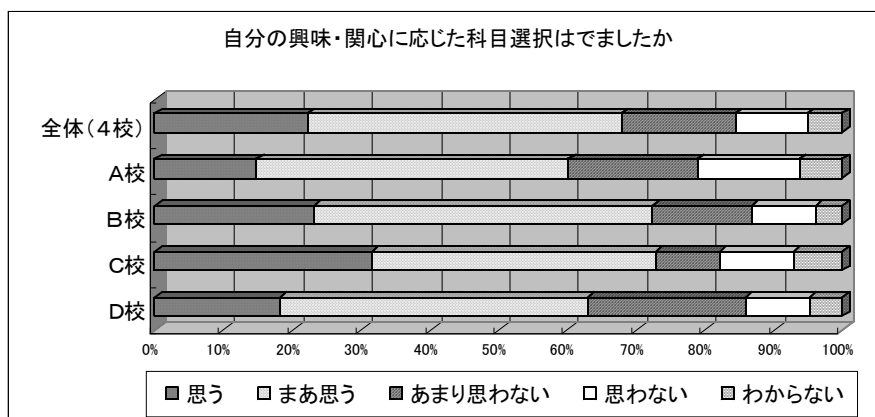


- ① 自分の進路についての学習が難しかったから
- ② 多くの選択科目の中から、どの科目を履修したらいいのか分からなかったから
- ③ 進路が定まっていなかったため、科目選択ができなかったから
- ④ 希望する選択科目が、履修できなかったから
- ⑤ クラス単位での授業が少なくなるため、人間関係が上手くつくれなかったから
- ⑥ その他

〔備考：データ件数は390件〕

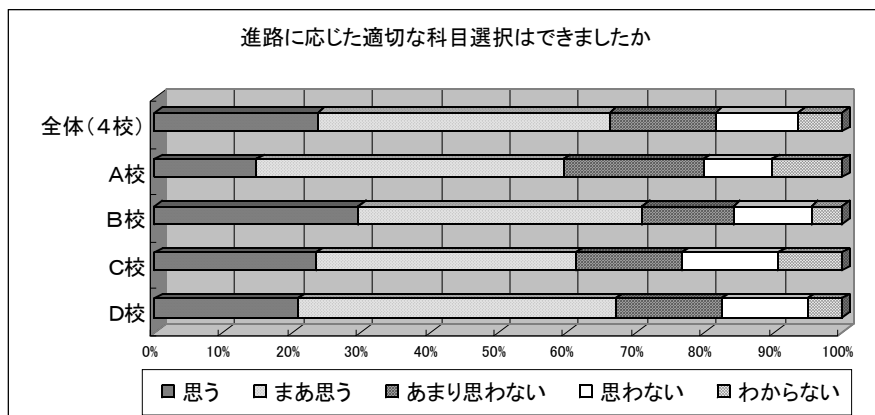
問9. 科目選択について

(1) 自分の興味・関心などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか。



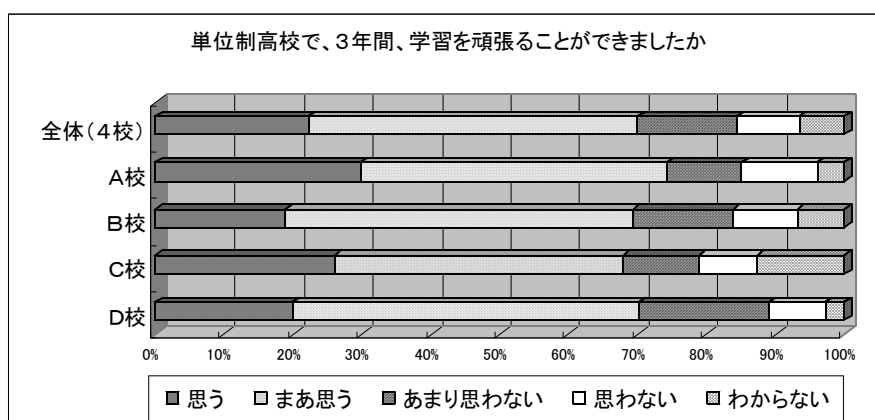
「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
 [全体] 68.0 %
 [A校] 60.2 %
 [B校] 72.4 %
 [C校] 72.8 %
 [D校] 62.9 %

(2) 自分の進路の希望などに応じて適切に科目を選択することができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
 [全体] 66.2 %
 [A校] 59.4 %
 [B校] 71.0 %
 [C校] 61.2 %
 [D校] 67.0 %

問10. 単位制高校での3年間における学習について、頑張ることができたと思いますか。



「思う」と「まあ思う」を合わせた数値
 [全体] 70.0 %
 [A校] 74.2 %
 [B校] 69.4 %
 [C校] 68.0 %
 [D校] 70.3 %

記述式回答の結果(抜粋)

1 全日制単位制に対する、教員の意見や考え

(1) 制度等全般について

- 生徒の能力や興味・関心、将来の進路希望など多様なニーズに応えた教育が展開できている。
- 生徒の個性伸張と満足度の高い進路実現には良いシステムである。
- 早い段階で進路意識を高めることができ、学習意欲の向上につながっている。
- 学習意欲が乏しい、また明確な進路希望を持たない生徒には、主体的な学習姿勢が見られず、単位制のメリットが生きてこない。
- 進路が未定でも、卒業に向け、単位を1つ取ることが学習意欲の向上につながっている。
- 半期の単位認定科目の導入、学年の枠を超えた科目設定、空き時間も認めるなど、単位制のメリットが生かしきれていない。
- 生徒のHR所属の意識を高める工夫が必要である。
- カリキュラムが複雑で、時間割変更も難しく、生徒も教師も忙しい。
- 単位制の教育に対する教員の共通理解を十分に図る必要がある。

(2) 授業や科目選択について

- 生徒が興味・関心から科目選択するので、主体的に授業に参加できており、授業も深まりやすく楽しいものになっている。
- 豊富な選択科目が用意されており、少人数のきめ細かい指導ができる。
- 生徒の能力に応じて、習熟度別の授業が展開できる。
- 選択科目の見直しも視野に入れ、科目内容を充分検討する必要がある。
- 授業において、外部講師の活用を積極的に行うことができるようにする。
- 科目の内容がわかるように体験授業や授業見学を実施するのがよい。
- シラバスを見やすく活用しやすいものに改める必要がある。
- 進路を明確に決めていない生徒には、選択科目の多さが迷う材料となっている。
- 事前の科目ガイダンスのあり方を検討し、生徒に分かりやすいものとする必要がある。
- 将来の仕事と科目の関係など、教員が実施する生徒へのガイダンスのあり方の研究・研修を行い指導力を高める必要がある。
- 多様な科目があるだけに他教科とのバランスや客観性を保つのが難しく、評価を研究する必要がある。

(3) 進路指導に関すること

- 高1で実施する「進路ガイダンス」の内容と質を一層充実させ、生徒自らが将来設計し、それに基づく進路の選択、主体的な履修科目の選択を促し、自己実現を支援できるようにする必要がある。
- 生徒自身に目標や将来の職業を考えさせるキャリアガイダンスを充実する必要がある。
- 生徒一人ひとりの「教育カルテ」を作成し、継続的な指導ができるようにする。
- 3年間を見通した進路設計ができるような支援体制を充実させる必要がある。

(4) 広報に関すること

- 単位制について、中学生およびその保護者、県民全体にも、広くその内容を知ってもらえるような機会や広報活動が必要である。

2 全日制単位制に対する、生徒の意見や考え

<1年次生>

- 自分の進路や、興味・関心に応じて好きな教科・科目が選択できる。
- 少人数で、きめ細かい指導を受けることができる。
- 選択科目をもっと増やしてほしい。
- 希望人数が少ない講座でも、開講してほしい。
- 習熟度別で自分の能力に応じた授業が受けられる。
- 努力すればするほど単位が取れて充実感がある。
- 英語検定や漢字検定が単位として認められているのが良い。
- 自分の長所や得意分野を伸ばすことができるし、苦手教科を克服するチャンスでもある。
- 単位を落としてはいけないとの気持が努力を生み、危機感を持って学校生活を送ることができる。
- 授業を通じて、他のクラスの人とも交流がもてる。
- シラバスをもっと分かりやすいものにしてほしい。
- どの科目を選択したらよいか分からず迷ったので、科目ガイダンスをもっと分かりやすく、丁寧に指導してほしい。
- 入学前に、単位制についてもっと詳しく知ることができるようにしてほしい。

<3年次生>

- 進路に応じて自分に必要な科目を選択学習できる。
- 他校にはない特色のある科目や選択科目が数多く用意されている。
- 少人数で、きめ細かい指導を受けることができる。
- 自分で科目選択できるので、授業を一層真剣に受けることができる。
- 習熟度別展開で、自分の学力に応じた授業を選ぶことができる
- 専門性をもっと深めらるような科目を設けてほしい。
- 少人数の希望であっても、授業を開講してほしい。
- 単位を、前期・後期で分けてほしい。
- 自分の将来について早いうちから見据えることができる。
- 次年度使用する教科書を事前に確認できるようにしてほしい。
- 科目選択前に、すべての科目の授業体験ができるようにしてほしい。
- 科目選択ガイダンスをもっと詳しくわかりやすくしてほしい。
- 単位制についてもっと詳しく、わかりやすく教えてほしい。